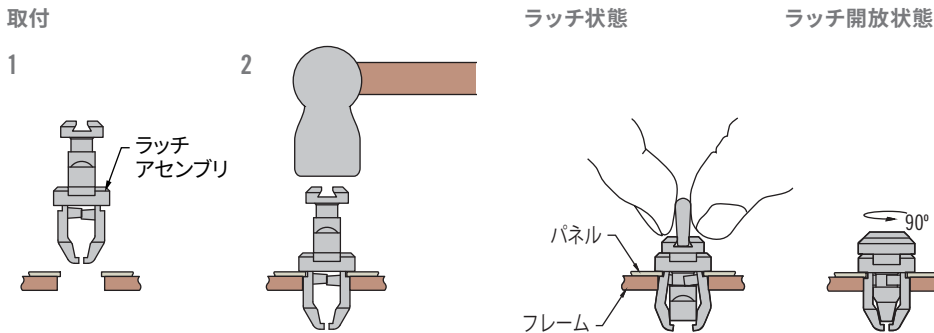
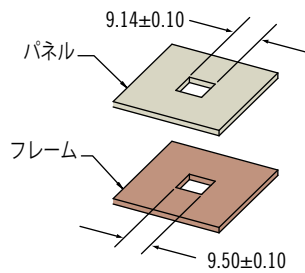
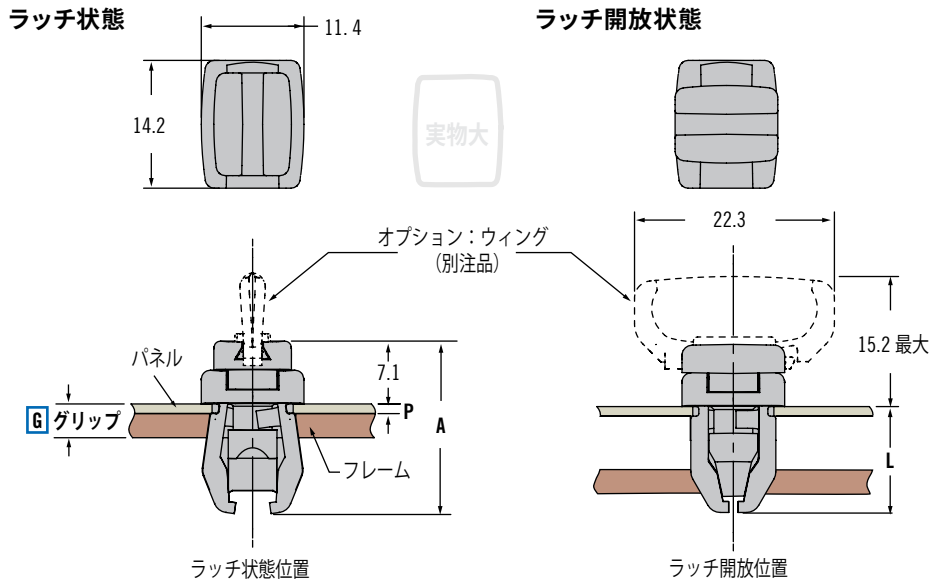


NY DZUS® (ズース) Qラッチ クォーターターンファスナ アセンブリ



- 表面取付
- パネル取付用アセンブリ

材質・仕上げ
ポリカーボネート(黒、白)

特性
耐燃性: UL94-V0

NY Qラッチ 取付方法

1. アセンブリを外側パネルに差し込んでください
2. アセンブリのヘッドを外側パネルにしっかり固定するよう打ち込んでください
3. スタッドを90°ひねり、ラッチを作動および開放してください
4. ウィングをマイナス溝にスライドし取付けてください

品番選定

ラッチアセンブリは一体型の1ピースで出荷されます

ウィングは別途ご注文ください

| G | グリップ幅 | | P 最大 | L | ラッチアセンブリ 品番 | 仕上げ |
|---|-------|------|------|-------|----------------|-----|
| | 最小 | 最大 | | | | |
| 1 | 1.50 | 3.76 | 1.0 | 12.7 | NY-N6-1-10 | 白 |
| | | | | | NY-N6-1-20 | 黒 |
| 2 | 1.93 | 4.19 | 1.5 | 12.95 | NY-N6-2-10 | 白 |
| | | | | | NY-N6-2-20 | 黒 |
| 3 | 3.00 | 5.26 | 2.5 | 13.97 | NY-N6-3-10 | 白 |
| | | | | | NY-N6-3-20 | 黒 |
| 4 | 4.62 | 6.88 | 4.1 | 15.75 | NY-N6-4-10 | 白 |
| | | | | | NY-N6-4-20 | 黒 |

| オプション:ウィング品番 (別注品) | 仕上げ |
|-----------------------|-----|
| NY-H6-10 | 白 |
| NY-H6-20 | 黒 |



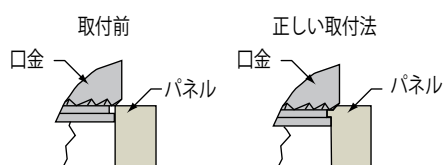
SOUTHCO®セルフクリンチ製品

取付ガイドライン

以下のSOUTHCO®製品はセルフクリンチ式を採用しており、キャプティブファスナとしてパネルに簡単に取付けることができます。

- キャプティブスクリュー
- クォーターターンファスナ用リセプタクル
- ファストリードスクリュー用リセプタクル

セルフクリンチ式のキャプティブファスナを正しく準備した取付用の下穴に圧入すると、パネル材がファスナの溝に低温流動し、ファスナをパネルに保持します。



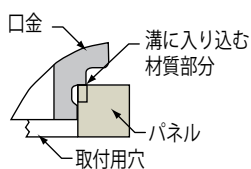
正しいプレスイン (圧入) 取付のために:

材質:

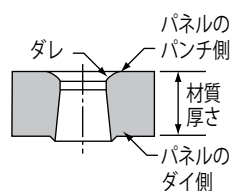
パネル材質の硬さはSOUTHCO®推奨値を超えないものを選びます。パネルが硬すぎるとファスナを正常に取付けることができません。

取付用下穴:

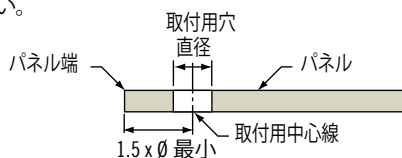
取付用穴の加工は、ドリル、パンチまたは鋳造された治具で行ってください。



- 穴端: 取付穴の切り口上面はシャープに保ち、破損が無いことを確認してください。面取り・バリ取りをしないでください。
- パンチ穴: クリアランスの少ないパンチとダイを使用して、ダレと破断角度を最小にしてください。
- 穴径: ファスナを取付ける側のパネル表面の穴径を測定してください。直径は各SOUTHCO®製品に指定された仕様範囲内にしてください。



- 穴が大きすぎる場合は、ファスナの溝に材質が十分流れ込まず、ファスナが適切に保持されない場合があります。
- 穴が小さすぎる場合は、ファスナが嵌合せず、取付が困難かつ不完全になる場合があります。
- パネル端から穴までの距離: 特に指定のない限り、推奨最小距離は取付用穴直径の1.5倍です。
- 穴端に近すぎる距離で取付けると材料が逆方向に流れ、パネル端の変形を招きます。穴端近くに取付ける場合は、パネル端に抑えを添えてください。



- ばね式プランジャ
- キャプティブナット
- ねじ式インサート

パネル厚:

取付穴位置のパネルの厚さは、サウスコが指定する最小推奨値またはそれ以上にしてください。

パネル材が薄すぎると、パネルの変形やファスナの破損が起こる可能性があります。

素早く簡単な取付のために:

取付方法:

適切なバックアップ治具を用い、製品ごとの推奨圧力にて圧入してください。

- 平行作動のプレスを使用してください。
- ファスナの頭部より大きい直径のパンチを使用してください。

取付圧力: 正しく取付けるには、適切な力を均等に加えてください。取付時の圧力は、パネルへのファスナ押込距離に影響を受けません。

- サウスコはハンマーの使用を推奨しません。ハンマーによる衝撃は、不均等な力が加わるためパネル材をファスナの溝に完全に流動させることができません。
- 取付圧力は、用途・取付材質により異なります。
- 止めとなるツバ(カラー)がない部品は、ローレットの端がちょうど見えなくなるまで押入ってください。

取付のタイミング:

パネルへのめっき処理または仕上げ完了後の取付を推奨します。

穴径は、仕上げまたはめっき処理前に仕様に合わせてください。

- 部品を過剰に押し込むと、パネル材が分離し保持力を減少させる可能性があります。

